

グループビジョン 2030

つぎの社会へ、 信頼のこたえを

Trustworthy Solutions for the Future

川崎重工グループは、刻々と変わる社会に、革新的なソリューションをタイムリーに提供し、希望ある未来をつくっていきます。そして、さまざまな枠を超えてスピーディに行動・挑戦することで、自らの可能性を広げ成長続けていきます。



経営方針

2020年度、当社グループの目指す将来像として「グループビジョン2030」を定めました。

脱炭素社会の実現、先進国を中心とした高齢化社会・労働力不足への対応、医療などの地域間格差の解消、自然災害の抑止や早期復旧、エネルギーの安定供給など、さまざまな

社会課題に対するソリューションをタイムリーに提供するため、3つの注力フィールドを定め、各種施策を推進しています。

「成長性の追求」「適正な利益」「安定性・シナジー」を基本方針とし、成長事業に投資を行いながら、時代の求める姿に事業を変容させることで持続的な成長を追求していきます。

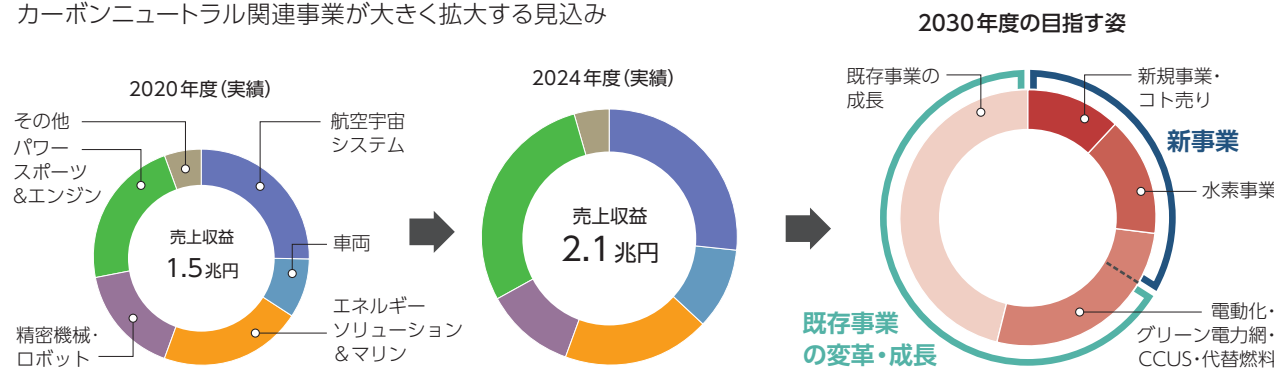


事業ポートフォリオ改革

既存事業では市場ニーズを捉えた製品・サービス開発で収益力を高めつつ成長を目指し、2030年に向けて事業ポートフォリオ改革を進めます。現在注力している水素関連事業ならびに電動化・グリーン電力網への対応などのカーボンニュートラル関連事業が大きく拡大する見込み

です。さらにオープンイノベーションを活用した新規事業の創出を加速させます。

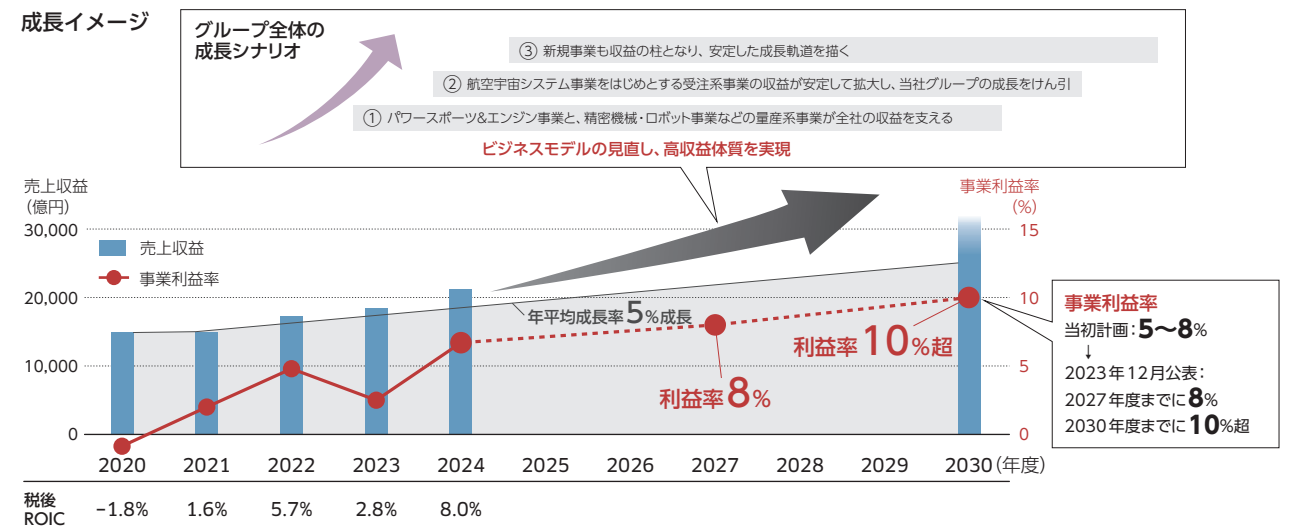
社会課題のより本質的な解決を実現し、ステークホルダーの皆様から高く評価される企業を目指していきます。



成長シナリオに沿ってビジネスモデルを変革～事業利益率目標を引き上げ～

「グループビジョン2030」の下、3つの注力フィールドを軸とする成長シナリオを推進しています。航空需要の本格的な回復に伴い、航空宇宙システム事業をはじめとする受注系事業の収益も安定的な拡大が見込まれます。成長シナリオは第2段階から第3段階へ差し掛かりつつあり、今後は、水素事業をはじめとする新規事業の収益化により安定した成長軌道を描くことを目指していきます。

これまで「グループビジョン2030」では、世界のGDP平均成長率3%を上回る売上収益年平均成長率5%の達成を目指してきましたが、2021年度以降は約7～8%の事業成長を実現しています。利益については、事業利益率を2027年度までに8%、2030年度までに10%超の実現を目指していきます。



探索の強化

「グループビジョン2030」で定める新たな社会課題解決やマーケットニーズの変化に対応できる企業を目指し、両利きの経営を推進しています。3つの注力フィールドの事業イメージの具体化に向けた探索活動を進めるため、当社グループの総合力を最大化し、他社、行政・自治体、アカデミアなどさまざまなパートナーとも連携しながら、社会実装を目指す場として、新たなソーシャルイノベーション共創拠点「CO-CREATION PARK - KAWARUBA」を2024年11月に開設しました。

KAWARUBAにおけるチャレンジテーマとして「ロボットと生きる、喜び豊かな未来をささえる社会の実現」や「水素・カーボンニュートラルソリューションでグリーン社会の新時代を切り拓く」を設定し、多様な実証フィールドを活用しながら事業起点でソリューション開発を推進しています。KAWARUBAにおいて当社が有する経営資本と外部との共創による価値創造の仕組みを実践し、今後グループ全体に展開していくことで、さまざまな社会課題を解決する企業へと変革していくことを目指していきます。

KAWARUBAの事業テーマ

